第６学年２組　国語科　「読書の部屋　『桃花片』」

わたしの桃花片　～自分をみつめて～

指導者　　松田　鯉栄

1　単元設定の理由

○　本単元は，小学校学習指導要領第５学年及び第６学年の「C読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には，以下のように示されている。

> (1) エ　登場人物の相互関係や心情，場面についての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめること。

単元構成図

わたしの桃花片～自分をみつめて～

	活動の内容	学習目標
第一次	「桃花片」を読んで物語のあらすじをつかみ，楊と父親の関係を考えたり，構造分析をして物語のクライマックスを捉えたりする。	楊と父親との関係を考えながら初発の感想を書いたり，理由付けを明確にして物語のクライマックスを考えたりすることができる。
第二次	楊と父親の「いいもの」に対する価値観の違いや２人の心情を読み取る。 グループ対話，全体交流を通して，楊と父親の関係を考え，キーワードにまとめる。	学習したことをもとに，楊の父親に対する思い，父親の楊に対する思い，楊と父親の関係，「いいもの」に対する価値観の違いなどについて，評論を書くことができる。
第三次	「わたしの桃花片」を書く。	各時間の評論をもとに，自分のまわりの人間関係，本当に大切にしたいもの（いいもの）などを考え，評論文「わたしの桃花片」を書くことができる。

○単元観

本単元では，自分自身を見つめて「わたしの桃花片」を書くという活動目標を設定し，楊と父親の「いいもの」に対する価値観の違いや２人の関係を中心に読み深める。自分自身の価値観や自分のまわりの人間関係と比較することを通して，登場人物の相互関係や心情，場面についての描写をとらえながら，自分の考えをまとめることをねらいとしている。

本教材は，陶芸家としての父の存在を越えたいと願いながら，なかなか越えられない主人公楊の葛藤と成長，楊と父親の「いいもの」に対する価値観の違い，楊が一生をかけて美を追求していくことで父の美を理解していく過程から２人の関係を読み深めることができる。本教材の主題は，主人公楊が美を追求する姿を通して，価値あるものはいったい何なのか，美しいものとは何なのかを考えるところにある。また，美しいものとは何かということについての異なる２つの価値観として描かれている楊と父親との関係を考えることにより，父親に対する楊の感情の変化（信頼，尊敬→反発→理解）の過程を読み取ることができる。自我意識が芽生え，時には大人に反発しながら自分の生き方を探り始めるこの時期の児童にとって，この教材は共感や反発を喚起し，自分自身とまわりの人との関係や自分の生き方を見つめ直す機会にもなると考える。

○児童観

本学級の児童（27名　男子15名，女子12名）は，第６学年６月に学習した物語文「ばらの谷」において，「設定」「展開」「山場」「結末」という物語の構成をとらえ，自分に強く語りかけてきたことを自分の言葉で短くまとめた。児童は，本来持っているばらの美しさに気付いた主人公の姿から，この物語の主題を自然のままが一番良い，ありのままが美しいなどと考え，自分らしさと結びつけて感想を書くことができた。

また，９月教材「海のいのち」では，Ａコース「太一は，どうして追い求めていたクエを殺さなかったのだろう」，Ｂコース「太一は，どうして『大魚はこの海のいのちだ』と思えたのだろう」に分かれてコース別でグループ対話をしたり，中心課題について模造紙にまとめ発表したりするジグソー学習を行った。学習後，中心課題「『海のいのち』とは何だったのだろう」について，理由付けをしながら自分の考えを記述することができた児童は，89％(24／27)であった。児童は，ジグソー学習に意欲的に取組み，コース別に分かれてお互いの考えや意見を交流をする中で，自分の考えを深めることができた。

児童は，物語文の学習に意欲的で，文章の中から根拠を挙げて事実や登場人物の心情を読み取ることはできる。しかし，行間や作品全体から主題について考えたり，作品の中における筆者の意図を読み取ったりすることは十分とはいえない。また，少人数でのペア対話やグループ対話では，意見の交流を活発に行うことができるが，全体交流においては，自分の考えをまとめて発表したり，友達の意見を自分の考えと比べながら聞き，それに対する意見を述べたりすることには課題があり，意見が絡み合う話合いになりにくい実態がある。

○指導観

指導に当たっては，「わたしの桃花片」を書くという言語活動を設定する。教材文「桃花片」で，楊と父親の「いいもの」に対する価値観の違いや２人の関係，美を追求していく姿などについて考えたことをもとに，自己を見つめ，自分の生き方や自分のまわりの人間関係について表現するという単元構成である。この学習により，登場人物の心情や相互関係を叙述に即して読む力と自分の価値観やまわりの人との関係について自分の考えをまとめ，表現する力を培いたい。

ねらいに基づき，次の３点において工夫して学習を進める。

第一に，単元を貫く言語活動を「『わたしの桃花片』を書く」と設定する。教材文「桃花片」で読み取った楊と父親の価値観や２人の関係と自分自身の価値観，自分のまわりの人との関係を対比し，「わたしの桃花片」という評論文を書き表すことで典型化を図り，物語を第三者的に見て自分にどう生かすかを考えさせたい。第二次において，毎時間「楊と父親はどんな関係なのだろうか？」について交流する。その時間に学習した楊と父親の「いいもの」に対する価値観や２人の関係などに対する評論（自分の考えを短くまとめたもの）を書くことを第三次の「わたしの桃花片」につなげていくことで，児童の学習意欲を高めたい。

第二に，クラス内でジグソー学習を行う。クラスの児童を「楊コース」と「父親コース」に分け，コースごとに「いいもの」対する価値観，焼き物に対する思い，「楊」と「父親」の相手に対する心情などを「楊」の視点，「父親」の視点で読み取る。その内容をグループ内で報告した後，「楊と父親はどんな関係なのだろうか？」という中心課題について交流する。交流した内容を適切に表わすキーワードにまとめさせることで，父親に対する楊の感情の変化（信頼，尊敬→反発→理解）や２人の関係を読み深めていきたい。

第三に，読みを深めるために，「一人読み（サイドライン，書き込みなど）で課題に対する自分の考えを持つ→グループ対話により確かめ合い，自信を持つ→全体交流によりみんなで課題解決をする→話し合いをもとに学んだことを自分の言葉で表現することで，深め合う」という流れで学習を進める。また，課題を解決するにあたって，根拠を常に叙述から見つけることや「何ページの何行目の～から，・・・と考えました。」と叙述に即して，根拠をはっきりさせて対話をさせる。特に，付けたしの意見や反対意見を優先させて，発表し合うだけではなく意見が絡み合う話合いになることをめざす。

２　単元の目標

○　教材を通して登場人物が持つ「いいもの」に対する価値観や相互関係にふれ，自分の価値観，自分のまわりの人との関係について進んで考えようとしている。　【国語への関心・意欲・態度】

◎　登場人物の心情や相互関係を叙述に即して読むことができる。　【読むこと　エ】

○　どうしてそのように考えたのか根拠や理由付けを明確にして対話したり，対話したことをもとに自分の考えを書いたりすることができる。　【言語についての知識・理解・技能　イ（キ）】

３　単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	○教材を通して登場人物が持つ「いいもの」に対する価値観や相互関係にふれ，自分の価値観，自分のまわりの人との関係について進んで考えようとしている。	◎叙述をもとに，登場人物の心情や相互関係を読み取っている。	○どうしてそのように考えたのか根拠や理由付けを明確にして話したり，対話したことをもとに自分の考えを書いたりしている。

4　指導計画（全６時間）

次	学習活動	めざす児童の姿	評価規準（評価方法）
一	「桃花片」の全文を読み，あらすじをつかみ，初発の感想を書く。（1） 構造分析をし，物語のクライマックスをとらえる。（1）	**「桃花片」の楊と父親の関係は，～な関係だと思います。理由は，～だからです。** **物語のクライマックスは，○番だと思います。理由は，～だからです。**	○　物語のおおまかなあらすじをつかみ，楊と父親の関係を考えて感想を書いている。【言語】（ノート） ○　構造分析から，物語のクライマックスについて考えている。【読む】（構造分析図）
二	幼い頃の楊と父親の「いいもの」に対する考えの違いを読み取り，楊と父親の心情や相互関係を読み取る。 （P110・8 行目～P114・12 行目）（1）	**ふだん使う陶磁器に限りない愛情を注いでいる父親の姿が，何だかばかばかしく思えて，それまで憧れの対象だった父親との関係がくずれはじめていると思います。**	○　叙述をもとに，幼い頃の楊と父親の「いいもの」に対する考えの違いを読み取り，２人の関係を考えている。【読む】（ノート）
	楊が若者に成長した頃，楊も父親も暗い気持ちになったのはなぜかについて考え，２人の価値観の違いを読み取る。 （P114・13 行目～P119・1 行目）（1）	**楊は，父親と焼き物に対する考え方が違うので反発しているけれど，焼き物の技術に関しては父親を尊敬しているようです。だから，近づきたいけど近づけないような関係だと思います。**	○　叙述をもとに，思うものができずに焦りを感じる楊とそれを見守る父親の様子を読み取り，２人の関係を考えている。【読む】（ノート）
	年老いた頃の楊の心の葛藤や「桃花片」の水滴に出会ったあとの楊の心情の変化，桃花片に込めた父親の価値観を読み取る。 （P119・2 行目～P121・14 行目）（1） （本時５／６）	**楊は，「生まれてきたつぼは，どれにもみんな，性質があるのだよ。それを作った者の心，そのものといってもいい。」という父親の言葉の意味がようやく分かったようです。桃花片の魅力を肌で感じることができたから，父親と心が通じ合い，父親のことを心から尊敬したと思います。**	○　叙述をもとに，名人と言われながらも，果たして自分は「いいもの」を作ることができているのかと苦悩する楊の様子や心情，桃花片の水滴に出会ったときの楊の心情の変化，桃花片に込めた父親の価値観を読み取り，２人の関係を考えている。【読む】（ノート）

三	「わたしの桃花片」を書く。　（1）		○　学習したことをもとに，自分のまわりの人間関係，本当に大切にしたいもの（いいもの）を考え，評論文「わたしの桃花片」を書いている。 【言語】(ワークシート)

5　本時の展開

(1) 本時の目標

○　「桃花片」に出会ったあとの楊の心情の変化や父親の価値観をとらえ，２人の関係を考えながら評論をまとめることができる。

(2) 観点別評価規準

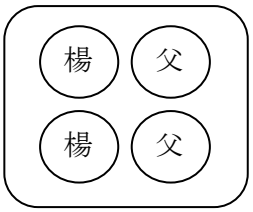
○　叙述をもとに，桃花片の水滴に出会ったときの楊の心情の変化や父親の価値観を読み取り，２人の関係を考えながら評論をまとめている。　【読む能力】

(3) 準備物

「わたしの桃花片」ワークシート，黒板掲示の絵

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点（○）と支援（◆）	評価規準（評価方法）
1　本時の課題を確認する。		
「桃花片」に出会ったあとの楊の心情の変化や父親が「桃花片」に込めた思いをとらえ，2 人の関係を考えながら評論をまとめよう。		
2　各コースでそれぞれの課題について話し合う。	○　楊コース，父親コースでの読み取りの視点をはっきりさせ，根拠を明確にして話し合わせる。 ○　話合いにおいては,「何ページの何行目の～の叙述から，・・・と考えました。」というよう　に根拠，理由付けをはっきりさせる。 【コース別学習】 【楊コース】「桃花片」と出会った楊の心情の変化を読み取る。 ・「桃花片」の水滴に記された父の刻印を見た時の楊の思いは何だろう。 【父親コース】「桃花片」に込められた父親の焼き物に対する価値観を読み取る。 ・「桃花片」に込めた父親の思いは何だろう。	

3　楊と父親の価値観や関係についてグループ対話をする。	【グループ別学習】  ○　それぞれのコースで読み取ったことを報告し，楊と父親の価値観や関係を表すキーワードにまとめさせる。 ○　楊が桃花片と出会う以前の価値観と比較しながら，心情の変化や２人の関係を考えさせる。 ◆　楊と父親の関係を考えさせるために，楊と父親の心の距離を図で表現させる。	○楊の父に対する心情の変化や桃花片に込めた父親の思いから，２人の価値観や関係をキーワードにまとめている。　【読む】 （行動観察）
4　楊と父親の関係について全体交流をする。	○　グループごとに話し合ったことをもとに「楊と父親はどんな関係なのだろうか？」という課題について全体で話し合わせる。 ○　各グループのキーワードに表されているニュアンスの違いを捉えさせるために，根拠や理由付けを明確にして発表させたり，ゆさぶり発問等で考えを深めさせたりする。	
5　楊と父親との関係を考えながら，自分の考えを評論にまとめる。（評価問題）	○　学習したことをもとに，自分とまわりの人間関係，本当に大切にしたいもの（いいもの）を考え，本時の評論を書かせる。	○楊と父親の関係を考えながら評論を書いている。　【読む】 （ワークシート）

○楊は，父の焼き物に近づきたい，父を超えたいと思って努力した。そして，やっと自分が目指す焼き物＝「桃花片」に出会うことができた。努力すれば，何かを得ることができるのかな。（成長）
○楊は，「桃花片」に出会ったことで，飾りたてた見かけではなく，内面にある大切なものに気付いた。私も，大切なものに気付けるようになりたい。（価値観）
○楊と父親は，はじめはすれ違っていたけれど，最後には父の心がわかったようだ。私も，最近，親とよくケンカをするけれど，時には親の気持ちを考えてみよう。（親子関係）